



がんばれ
ブラスバンド
— 第五中学校 —

市の中心部から歩いて20分、緑にかこまれ、静かな環境にたたずむ第五中学校を訪ねました。

校長先生は「校舎はボロでも心は錦たれ」と力説され、これを合い言葉として学習に運動に励んでいます。このたびは、学校教育活動のいろいろな分野で活躍しているプラスバンドについて聞いてみました。

現在、ブラスバンドは36人編成で、昭和43
年以來県大会に出場し、45年度には「優秀賞」
を獲得しています。

ところが使用している楽器は、必ずしも十

分ではなく、学校備え付けのものもすでに相当の年数を経過しているので、音程の不正確なものもあるということです。

こんな状況の中で、
師弟一体の猛練習により立派な成績をあげて
いることは、高く評価されるべきでしょう。

PTAは、創立20周年を記念して楽器を寄贈することになり、現在募金中とのことで、部員はもちろん学校当局も非常に感謝しており、さらに今後の活躍が期待されます。

きょうも校舎の片すみにある音楽室からは、熱心なブラスバンドのメロディが聞こえていました。

(写真は、第20回関東吹奏楽コンクール新潟県大会、下越地区大会で吹奏する5中 brass バンド部員)



野鳥を
大切に
保護しよう

野鳥がめっきり減ってきたため、保護しようという気運が盛り上がりを見せています。いっぽう愛玩用に野鳥を飼う人もふえてきました。

ところで、あまり知られていないようですが、野鳥を捕ったり、飼ったりするには次

のような制限があります。

●野鳥の捕獲や飼育には、必ず許可を受けなければなりません。

●鳥のヒナ・卵・巣などの採取は禁止されています。

●カスミ網での捕獲はできません。

無許可で野鳥を飼っている人は、すぐに放鳥するなり許可を受けるようにしましなう。

また、これから鳥を飼おうとする人は野鳥でなく、飼鳥（フンチョウやカナリヤなど）にして、野鳥保護にいつそう

電線に注意して
感電事故防ごう

電気は、常にもっとも通るのがとてほきな性質があります。人が電気にはよくわたりやすいところを早く走りまわります。筋肉や神経に刺激を与え、やけどや呼吸停止を伴います。いわゆる「感電」とは、このことをいいます。感電事故を防ぐためにも、次のことに十分注意しましょう。

★屋根の修理やペンキぬり、または煙突やテレビアンテナを立てるときには、近くの電線に気をつけましょう。

★電柱や鉄塔には昇らないこと。非常に危険です。

★たれ下っている電線にはぜったいさわらないようにしましょう。台風のあとなどは特に危険です。

ご協力ください。

なお、許可申請などについてわからないことがあります。たら、保健所か鳥獣保護員の明間恵夫さん（東金沢）にお問い合わせください。